

中央アルプスの山々を広く臨む

## 高倉地区の駒ヶ岳展望箇所



中央アルプスは木曽谷と伊那谷を隔ててそびえ、国内最大の花崗岩山脈といわれています。その姿は木曽谷の各地から眺めることができます。

上松町内から山脈全体を見渡すには、町の西部一帯がお薦め。特に高倉地区の最上部からは、麦草岳から空木岳に至る山脈が広々と眺められます。

この撮影ポイントへの道中でも、田園やススキを背景に、様々な駒ヶ岳の表情が楽しめます。

上松町高倉地区

(撮影時には車の通行にご注意下さい)

右の位置情報からマップへリンクできます。



田園風景を背景に、駒ヶ岳の雄姿に迫る

## 野尻地区の駒ヶ岳展望箇所



上松町西部から眺める山脈の広大さに比べると、町東部の山麓に近づくほど、木曾駒ヶ岳はその荒々しさを増してきます。

この野尻・徳原地区は、のどかな田園風景を背景にして駒ヶ岳を撮影できる場所。特に、雪化粧し夕照の陰影に描き出された木曾駒ヶ岳は、美しい一言に尽きます。

ズームング次第では、山脈の尾根が見せる険しい姿もカメラに収められるポイントです。

上松町野尻・徳原地区

(撮影時には車の通行にご注意下さい)

右の位置情報からマップへリンクできます。



木曾駒ヶ岳の安寧を禱る、勇壮な舞台

## 駒ヶ岳神社里宮「太々神楽」



駒ヶ岳神社の本殿は山頂に建っていますが、普段から参拝できるようにと里に建てた社殿が「里宮」と呼ばれ、毎年5月3日に例祭が行なわれています。

この神社に400年余にわたって伝えられる、太々神楽。その技は氏子の長子に一子相伝で伝承されてきました。

特に4人の天狗が舞う「四神五返拜」は迫力満点。毎年、多くの観客やカメラマンが集う春の風物詩です。

駒ヶ岳神社里宮  
上松町東里

(例祭は5月3日、例年同日です)

右の位置情報からマップへリンクできます。



中山道最大の難所として恐れられた

## 木曾の棧



かつて、碓氷峠と太田の渡しにならび、中山道最大の難所として恐れられた木曾の棧。写真の右側に見える国道部分が、当時の木橋の跡といわれています。

現存した頃は200m近い木橋が続いていましたが、松明による焼失事故や落石による破損などが相次ぎ、1600年代の半ば、尾張藩の手により石垣に改修されました。国道下の円柱部分が、石垣の残る部分です。

この棧一帯は、朝霞の姿が木曾八景に数えられています。また紅葉も綺麗な場所。このカードの写真は、組写真で撮影したものです。

木曾の棧  
上松町棧(上松町最北部)

(付近に日帰り入浴も可能な温泉あり)  
右の位置情報からマップへリンクできます。



清々しい飛沫で涼める中山道の名所

## 小野の滝



江戸時代の浮世絵「中山道六拾九次」で描かれた上松宿は、この小野の滝でした。現在でも涼しげな流れが、国道沿いから気軽に楽しめます。

撮影のポイントは、頭上にあるJR軌道を入れないこと。桜、紅葉、氷瀑と、四季折々の姿を見せてくれます。

小野の滝  
上松町小野(国道19号線沿)

右の位置情報からマップへリンクできます。



常識を覆す、紅葉が見事な針葉樹林

## 赤沢自然休養林の溪流



針葉樹の森は、紅葉に縁遠く感じられます。が、ヒノキの森林は紅葉が見事。これは日光を好むヒノキの性質によるところが大きいといわれます。

赤沢の溪流沿いは、特に広葉樹が多く色づきも鮮やか。見頃は毎年10月10日頃からの約半月で、ヒノキの足元に生える広葉樹が楽しめます。

溪流沿いの撮影ポイントは、焼笹地区にある貯木場より上流の国有林。民有林とは風景が一変します。上の写真は貯木場近くの橋から撮影した組写真です。秋の赤沢は、まだまだ知られていない紅葉の見所です。

赤沢自然休養林

上松町小川入国有林内

TEL: 0264 - 52 - 4830

(11月～4月の冬季は閉園しております)

右の位置情報からマップへリンクできます。



鉄道と名勝を同時にファインダーに

## 寢覚の床展望箇所



中山道有数の名勝として、江戸時代から多くの旅人が訪れている寢覚の床。現在でも木曾探訪の目印に、多くのお客様が訪れます。

この寢覚の床を、鉄道と一緒に撮影できるのが、レストハウス木曾路のテラス。広角レンズを使用すると、見事に全てが収まります。日光の当たり具合により、撮影のお薦め時間は午前中10時頃までです。

レストハウス木曾路  
上松町寢覚(国道19号線沿)  
TEL:0264-52-2554



右の位置情報からマップへリンクできます。

陰陽師「安部晴明」の幼少期を描く獅子狂言

## 小川若宮神社「葛の葉」



木曽にも新緑の便りが聞こえ始める4月30日から、島地区の小川若宮神社で例祭が行なわれます。この神社最大の特徴は、陰陽師として名を馳せた安部晴明の幼少期を描く、獅子狂言の舞台。口に筆をくわえた獅子が晴明の母親を演じ、晴明を背負いながら子別れの怨み歌を戸板に書き付けます。

最終日の5月2日には、神社境内で上演されます。

小川若宮神社  
上松町島

(葛の葉の上演は、4月30日夜が地区の集会所、5月2日昼～が神社境内です)  
右の位置情報からマップへリンクできます。



木曾八景の風景を写す

## 寢覚の床



悪天候が愛でられる風景は滅多にありませんが、寢覚の床は雨にけむる姿が「寢覚の夜雨」として木曾八景に選ばれています。

このスポットまでは、臨川寺からのルート(要、拝観料)、木曾路美術館から下るルート、町営駐車場から散策するルートがあります。撮影のお勧め時間は午前中。10時頃までが最適です。

寢覚の床美術公園付近  
上松町寢覚

TEL:0264-52-2001

(電話番号は上松町観光協会です)

右の位置情報からマップへリンクできます。



春 / 秋で風景が一変する木々と花

## 赤沢渓流コースのアカヤシオ



四季折々の花が見事な赤沢美林でも、特に撮影しやすいことから人気のポイントが渓流コースにあるアカヤシオ。時期的には5月のGW以降が狙い目で、深みのある淵を背景に、薄紅色の花がよく映えた画像が得られます。開花時期は4月下旬から約2週間です。

渓流沿いに並ぶアカヤシオの花々も見事ですが、このアカヤシオは紅葉も美しい。10月中旬に、春と同じ撮影スポットを訪れるのも一興です。

赤沢自然休養林

上松町小川入国有林内

TEL: 0264 - 52 - 4830

(11月～4月の冬季は閉園しております)

右の位置情報からマップへリンクできます。



湍のグリーンとのコントラストが見所

## 赤沢溪谷 姫湍のアカヤシオ



平安の昔、以仁王の御息女が追っ手を逃れ、この湍に身を投げたという悲話が残る姫湍。ここでは4月下旬頃、綺麗なアカヤシオが開花します。撮影ポイントの目印は、溪流にかかる吊橋。対岸からの撮影がおすすめです。

赤沢自然休養林  
上松町小川入国有林内  
TEL:0264-52-4830  
(11月～4月の冬季は閉園しております)  
右の位置情報からマップへリンクできます。

